

# 「金沢マラソン2019」におけるスポーツボランティア (応援ステージ運営)

団体名●池田ゼミナール、フィールドプロジェクト、野外スポーツ部、ダンスサークル／代表者名●池田幸應(人間科学部教授)

## はじめに

2015年10月にスポーツ庁が設置され、全国的にスポーツツーリズムやスポーツによる地域活性化への取組が推進されている。石川県金沢市でも金沢市文化スポーツ局が再組織化され、県民・市民へのスポーツ振興策が推進されており、マラソン推進課が設置され、金沢市のスポーツ政策の大きな柱として市民参加型の「金沢マラソン」が2015年度より継続実施され、今回で第5回を迎えた。本学も第1回から継続的に人間科学部スポーツ学科池田ゼミナール、野外スポーツ部、ダンスサークル学生が関わっており、更に正課としてフィールド基礎演習プロジェクト学生も運営サポートボランティアとして参画している。なお、本学は金沢市との連携協定締結(2018年3月)により、金沢市のスポーツ振興推進に向けて連携・協働を推進している。

本稿では、金沢マラソン2019の城北市民運動公園「応援ステージ」における活動について記述する。

## 活動内容

金沢マラソン2019の城北市民運動公園「応援ステージ」については以下のとおりであった。

(1)日時：2019年10月27日(日) 8:50～15:40

(2)場所：城北市民運動公園内(31.4km地点)、(3)活動内容：応援ステージの運営及び沿道応援、(4)参加学生：金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科フィールド基礎演習プロジェクト学生(22名)、池田ゼミナール3・4年次学生(15名)、野外スポーツ部学生(69名)

応援ステージ会場は、2ヵ所設定されており(西部緑地運動公園及び城北市民運動公園)、それぞれ金沢学院大学及び金沢星稜大学学生がその運営を担っている。応援ステージの運営及び沿道応援に関して、学生間での役割分担により実施した。応援ステージでの各出演団体は、1回15分間×2ステージが設定されており、出演団体数7団体のうち、本学の1団体を除き、色別ゼッケンを装着した学生が応援ステージ団体サポートメンバーとして対応した。



写真：応援ステージ出演団体をサポートする学生たちの様子

## 成果、結果の考察

今回で5回目の応援ステージ運営サポート活動となり、学生の役割分担とその担当ごとの事前打合せ等によりスムーズに応援ステージ出演団体へのサポートができ、各出演団体の方々から“学生の皆さんのおかげで、スムーズに応援できました”との言葉をいただいた。学生の中には、昨年度の応援ステージ出演団体への対応経験者もあり、加えて出演団体の多くが昨年度からの継続団体ということもあり、和気藹々の雰囲気の中、スムーズに運営サポートすることができた。

## 今後の課題、展望

参加した学生たちにとって、実践的なスポーツボランティアの学びの場となり、特にスポーツ学科学生にとっては、「支えるスポーツ」を肌で感じ、専門性の深化に繋がったものと考えられる。この経験を活かして、今後のスポーツによる地域活性化へと活動継続を期待したい。